

平成 29 年 9 月 13 日

長崎県立大学	
担 当	企画広報課企画広報グループ 前田、福元
電 話	0956-47-5856 (直通)
メー ル	<a href="mailto:kikaku@sun.ac.jp">kikaku@sun.ac.jp</a>

## 長崎県立大学秋の公開講座の開催について（ご案内）

長崎県立大学では、県民の皆様にご学習の機会を提供し、地域における生涯教育の振興に貢献することを目的として、9月23日（土）に公開講座を開催します。

今回は、「生活に役立つ心理学」、「市民参加手法の最前線」と題し、本学教員による講座を行います。

講座は、佐世保校・シーボルト校の両キャンパスと、新上五島町鯨賓館活動支援室をインターネット回線で結んで実施いたします。

詳細については、別紙チラシに掲載しておりますのでご参照ください。

記

### 長崎県立大学秋の公開講座

開 催 日：平成 29 年 9 月 23 日（土）

講座内容：13:30～14:30 橋本 優花里（地域創造学部公共政策学科 教授）

「生活に役立つ心理学」

14:40～15:40 石田 聖（地域創造学部公共政策学科 講師）

「市民参加手法の最前線」

主 会 場：佐世保校 新館講義棟 1 階 504 教室

遠隔会場：シーボルト校 中央棟 1 階 M103 講義室、新上五島町鯨賓館活動支援室

対 象 者：どなたでも参加できます

受 講 料：無料

申し込み：不要（1 講座のみの受講も可能です）

平成29年度  
長崎県立大学

# 秋の公開講座

## 公共政策学科

【主会場】佐世保校  
【遠隔会場】シーボルト校、新上五島町

9  
23  
SAT



生活に役立つ心理学

橋本 優花里 教授



市民参加手法の最前線

石田 聖 講師

## 情報セキュリティ学科

【主会場】シーボルト校  
【遠隔会場】佐世保校

9  
30  
SAT



インターネット  
被害未然防止講座

C.ソムチャイ 教授



歴史上の未解説言語と  
人工知能

山口 文彦 教授

## 経営学科

【主会場】佐世保校  
【遠隔会場】シーボルト校

10  
7  
SAT



長崎県経済の  
基幹産業「造船業」の今と未来

宮地 晃輔 教授



インフラ関連企業の  
高信頼性組織と安全文化  
～原子力発電所を事例に～

四本 雅人 准教授

## 実践経済学科

【主会場】佐世保校  
【遠隔会場】シーボルト校

10  
14  
SAT



地域資源としての  
エネルギーの活用を考える

芳賀 普隆 講師



地域交通を考える  
～交通経済論の視点から～

鶴指 眞志 講師

## 国際社会学科

【主会場】シーボルト校  
【遠隔会場】佐世保校

11  
11  
SAT



芥川龍之介から遠藤周作へ

下野 孝文 教授



FinTechで変わる?!  
～お財布のヒモを誰が握るのか～

河又 貴洋 准教授

**参加無料 / 申込不要**

**どなたでも参加できます**

**土曜日開催 13:30～15:40**

(1講座60分 前半 13:30～14:30)  
後半 14:40～15:40)

※この公開講座は、ながさき県民大学の  
連携講座となっております。

## 会場案内

### 佐世保校

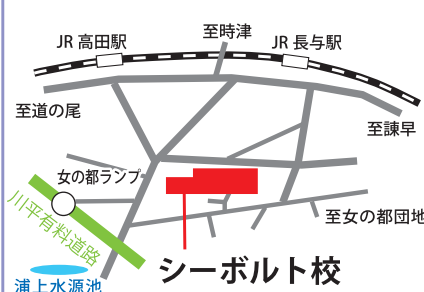
新館講義棟 1階504教室  
佐世保市川下町123



駐車場あり

### シーボルト校

中央棟 1階M103講義室  
西彼杵郡長与町まなび野1-1-1



### 新上五島町

鯨賓館活動支援室  
南松浦郡新上五島町有川郷578-36

遠隔会場には主会場からテレビ授業  
システムにより映像を配信します。

本学の様々な情報は  
WEBでご覧いただけます。

ホームページ

Facebook



お問合せ



長崎県立大学  
UNIVERSITY OF NAGASAKI

佐世保校 <企画広報課> TEL 0956-47-5856

シーボルト校 <総務企画課> TEL 095-813-5500

【主催】長崎県立大学

【後援】長崎県教育委員会、佐世保市、長与町、新上五島町

公共政策学科

## 9/23

土曜日

【主会場】  
佐世保校

【遠隔会場】  
シーボルト校  
新上五島町



### 生活に役立つ心理学

講師 橋本 優花里 教授 時間 13:30~14:30

心理学といえば、「人の心が読める」学問だと思われがちですが、残念ながら違います。しかし、心理学には、科学的研究に裏付けられた日々の生活に役立つ視点がたくさんあります。この講座では、それらについて、理論的背景も踏まえながら、具体例とともに概説していきます。



### 市民参加手法の最前線

講師 石田 聖 講師 時間 14:40~15:40

現代の地域社会が抱える問題は複雑かつ多様であり、その解決に市民の力とICT技術を活用する動きが国内外で急速に広まっています。本講座では、主に海外事例として北米の実践を交えながら、国内外における最近の市民参加手法の動向や課題についてお話しします。

情報セキュリティ  
学科

## 9/30

土曜日

【主会場】  
シーボルト校

【遠隔会場】  
佐世保校



### インターネット被害 未然防止講座

講師 C. ソムチャイ 教授 時間 13:30~14:30

今日パソコンやインターネットは私たちの生活に欠かせないものとなってきています。一方で、利用者がコンピュータウイルス感染、個人情報漏えい、詐欺行為等の脅威に直面する危険性も増してきており、安全・安心にインターネットを利用するためには、利用者の情報セキュリティ知識の向上が不可欠となっています。本講座では、インターネットの一般の利用者を対象に、情報セキュリティに関する基礎知識を学ぶことを目的とします。



### 歴史上の未解読言語と人工知能

講師 山口 文彦 教授 時間 14:40~15:40

最近、さまざまな分野で「人工知能」という言葉を聞くようになりました。歴史研究も例外ではありません。本講座では、人工知能とはどういうものかについての概略を述べたのち、歴史上の未解読言語に関連して人工知能の技術を用いたいくつかの試みについて紹介します。

経営学科

## 10/7

土曜日

【主会場】  
佐世保校

【遠隔会場】  
シーボルト校



### 長崎県経済の基幹産業 「造船業」の今と未来

講師 宮地 晃輔 教授 時間 13:30~14:30

長崎県の造船業は、基幹産業として古くから長崎県経済をささえてきました。長崎県の造船企業の競争国は中国と韓国であり、これまでも両国の造船企業との間で熾烈な受注競争を行ってきました。最近の県内の造船各社は、いくつかの理由で経営環境としては厳しい環境に置かれています。本講座では、長崎県の基幹産業「造船業」の今を説明したうえで、未来の姿を皆様と考えていきたいと思えます。



### インフラ関連企業の 高信頼性組織と安全文化

～原子力発電所を事例に～

講師 四本 雅人 准教授 時間 14:40~15:40

2011年3月に発生した東京電力福島第一原子力発電所の事故に代表されるように、大企業、特にインフラに関連する企業による組織事故は、社会に甚大なる被害を及ぼすことが少なくありません。そこで、事故を未然に防ぎ、万が一、事故が発生しても高いレジリエンス（復元力）を発揮できる組織について、「高信頼性組織」と「安全文化」という観点からお話しします。

実践経済学科

## 10/14

土曜日

【主会場】  
佐世保校

【遠隔会場】  
シーボルト校



### 地域資源としての エネルギーの活用を考える

講師 芳賀 普隆 講師 時間 13:30~14:30

東日本大震災以降、エネルギー問題への関心の高まりに加え、2016年4月からは電力の小売り自由化も開始されました。エネルギー問題は地域社会にとっても個人の生活にとっても、今まで以上に身近な話題となってきています。本講座では、近年におけるエネルギー問題の動向や再生可能エネルギーの普及事例も踏まえつつ、地域資源としてのエネルギー活用について皆さんと一緒に考えてみたいと思えます。



### 地域交通を考える

～交通経済論の視点から～

講師 鶴指 眞志 講師 時間 14:40~15:40

近年、少子高齢化の要因もあり、交通が注目されています。本講座ではバスや鉄道などの地域交通について焦点を絞ります。交通経済論での交通の財の性質について触れたうえで、具体的事例を参照しながら、地域における交通政策についての方向性を考えます。

国際社会学科

## 11/11

土曜日

【主会場】  
シーボルト校

【遠隔会場】  
佐世保校



### 芥川龍之介から遠藤周作へ

講師 下野 孝文 教授 時間 13:30~14:30

遠藤周作は、『沈黙』に関連して、芥川龍之介の『『神々の微笑』の怖しさは』、『いかなる宗教も思想もそこへ移植すればその根が腐り、その実体が消滅し、外形だけはたしかに昔のままだが、実は似而非なるものになってしまう日本の精神風土』を描いた点と指摘しています。この芥川が表し、遠藤が読み取った「日本の精神風土」について、その二つの作品を中心に話します。



### FinTechで変わる？！

～お財布のヒモを誰が握るのか～

講師 河又 貴洋 准教授 時間 14:40~15:40

FinTech (Financial Technology) と称し、情報通信技術 (ICT) を駆使して金融サービスを生み出したり、見直したりする動きが注目され、加速化してきている。その国際的な動向を解説するとともに、金融業界とICTビジネスの融合が、われわれの生活をどのように変えてくれるのか、その核心部分を捉えながら、日本人の金銭感覚や消費行動についても考えてみましょう。もしかすると、あなたのお財布のヒモ…誰かに握られているかも。